

# ボランティア積極活用

## 親の家

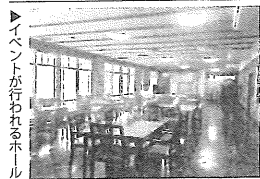
話題の  
ケア現場

### 昨年、延べ1800人参加



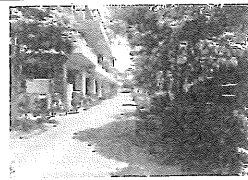
春日実穂 施設長

特別養護老人ホーム「親の家」(東京都武蔵野市)では、昨年のボランティア参加人数が延べ1800人を超えた。皿洗いや建付けの悪い木戸修理、庭や畑の手入れや植木の剪定など、毎日何らかの活動が行われている。「施設にボランティアの目が入ること、職員に良い影響を与えている。施設のイメージ向上にもなっている」と春日実穂施設長は語る。



イベントが行われるホール

「施設の前を通りかかったら植栽が気になったから手入れをした」という申し出からボランティアに来た例もある。それだけの施設が地域の人々の身近な存在なのだと思う」と現状を評した。同施設内のデイサービスにおいて送迎のドライバーが退職し後任を探していたところ、



ふれあい植子の際は庭に置かれた

ボランティアの男性が知り合いのドライバーを紹介し、採用に至ったケースもある。また、ジュニアボランティアという形で長期休みの間に3日間ほど、近隣の小学校の児童が施設を訪れ、畑での農作業や入居者との昔遊びなどで交流を深める。中学校から職業体験も受け入れている。小中学生が施設に来ることは、その親に

対して施設のアピールとなり、利用者の獲得にも繋がる。施設で開催される動物ふれあいイベント、ミニバザー、地域住民を招いた感謝祭のふれあい横丁、納涼祭など多彩なイベントは、多方面からのボランティア受け入れにより実現できている。これらのイベントは一般の地域住民も参加できるため、そこから新規のボランティア獲得に繋がると、さらにイベントの充実につながるという好循環ができてきている。施設は社会福祉法人親の家(同)が運営。地上3階、地下1階建て。定員は40名。ショートステイ、デイサービス、

名称：親の家  
 類型：特別養護老人ホーム  
 定員：40名  
 事業主体：社会福祉法人親の家  
 住所：東京都武蔵野市八幡町

ビス、認知症対応型デイサービス、居宅介護支援事業所が併設されている。

建物はRC造だが外装、内装ともに木材を多用している。内装は日本の昔ながらの家をイメージした造りにより、入居者に安心感を抱かせるような工夫がなされている。青野佑一郎事務長はこの施設の造りについて、「古い日本の家のように、少し込み入った造りとなっている。視線を遮るものがあるため、利用者にとってはリラックスできる空間となっている」と語った。